

科目番号	25-302-26	学期	A セメスター	単位数	2
法学部との合併	有	法科大学院との合併		受入学生	修博
他コースとの合併			他研究科との合併		
担当教員	神作 裕之、飯田 秀総				
題目	金融商品取引法				
授業の目標・概要等	金融商品取引法に関する理論と実務を体系的に理解し、資本市場の在り方を考察することが、本授業の目標である。実務家をゲストスピーカーとして招いて実務についての理解を深める回も予定している。				
授業計画	<p>下記の予定であるが、若干の変更があり得る。</p> <p>第1回 開講の辞・本講義の概要ほか説明・証券会社の投資銀行業務について（引受け・M&amp;A）</p> <p>第2回 総論（金商法の目的、体系、規制の概要、有価証券概念など）</p> <p>第3回 金融商品取引業の登録制度、開業規制、業務規制、投資者保護基金など</p> <p>第4回 行為規制：適合性の原則、説明義務など顧客保護に関する諸ルール</p> <p>第5回 インサイダー取引規制</p> <p>第6回 相場操縦、偽計、一般的詐欺禁止規定などの不公正取引規制</p> <p>第7回 取引所（含. 決済・清算）、自主規制、コーポレートガバナンス、スチュワードシップ</p> <p>第8回 開示①（発行開示）</p> <p>第9回 開示②（継続開示）</p> <p>第10回 委任状勧誘、大量保有報告制度、公開買付け①</p> <p>第11回 公開買付け②</p> <p>第12回 金融商品取引法のエンフォースメント</p> <p>第13回 金融商品取引法の将来/まとめ</p>				
授業の方法	講義				
成績評価の方法	筆記試験による。				
教材・主要文献等	<p>【教科書】山下友信＝神田秀樹編『金融商品取引法概説(第2版)』（有斐閣、2017）</p> <p>【参考書】授業中に紹介する。</p>				
履修上の注意	特になし。				

使用言語	日本語
開講年度の予定	